

請 願 第 2 号	平成28年2月23日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	市民への認知症対策の充実を求める件
紹 介 議 員	原 弘 志 議員
請 願 要 旨	
<p>現在、メディアを通して「認知症」という言葉を見聞きしない日はない。65歳以上の認知症は全国で462万人以上、軽度認知障害という予備軍を含めると高齢者の4人に1人となっており、また30～40歳代の現役世代での発症例も存在する。</p> <p>厚生労働省研究班によれば、認知症はアルツハイマー型68%、脳血管型20%、レビー小体型4%等となっている。予防のためには早期診断が必要で、診断の結果によって適切な治療を早期に開始することが必要である。</p> <p>八千代市には千葉県認知症疾患医療センターとして、心和会・八千代病院が指定され、医師、臨床心理士、理学療法士、専門コーディネーター、薬剤師が配置され総合的な業務を行っているが市民には余り知られていない。</p> <p>医療と介護の連携が必要とされるが、現状では介護保険の認定は、被保険者の生活・行動に手間がかかるかの点を重視し、病状の重さ、認知症等の診断、日常生活の不自由な点などを考慮した認定審査は行われていない。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>八千代市として市民の認知症対策として、市の長寿支援課、担当部署を含め</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正しい判断を行うため、検査・診断をするようにし、検査費用の一部を補助すること。 2. 介護の調査審査認定は、認知症症状の実態を十分調査し、被保険者の立場に立った認定を行うよう改めること。 3. 地域包括支援センターは、本人、家族、相談者の生活状況を把握し、ワンストップサービスを行うこと。 	